

課題：生活インフラへのアクセス確保

解決案 ↓ ↓ ↓

むしろインフラに来てもらう

### [エリア]

滋賀県＞近江八幡市＞老蘇学区

人口：2,649人

面積：8.99km<sup>2</sup>

※近江八幡市オープンデータ  
https://www.city.yasuhiko.lg.jp/infocenter/01.html#kaku  
※老蘇学区 安楽のまちづくりアンケート集計結果(要旨)  
https://www.city.yasuhiko.lg.jp/infocenter/01.html#kaku  
※国土情報院  
https://www.landis.or.jp/infocenter/01.html#kaku



拠点

地域内にインフラを受け入れる拠点を作る

インフラ

今回誘致するインフラ =  
・飲食  
・お買い物  
・談話

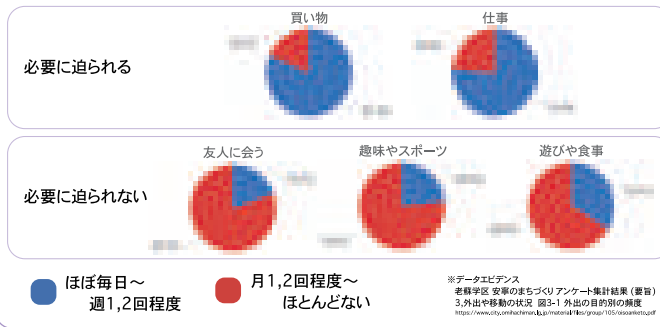


### 誘致するインフラについて

課題の見直し

実は必要に迫られる移動は出来ている。  
今回は必要に迫られず、気が付かないうちに減っている  
日々の楽しいを誘致するインフラと位置付けます。

#### 移動の理由に関するアンケート



日々の楽しいが不足している

“日々の楽しい”を実現するベンダーが必要

#### 拠点 = 空き家を利用

住民が歩いて行ける位置にあり、提供する飲食の調理場が既にある空き家を利用。  
テナントを借りたり拠点を新しく建てるよりも大幅にコストを抑える事が可能です。

#### ベンダー = 事業者見習い

企業や飲食店の経営者を誘致するのではなく、これから飲食店を始めたい方やネットで手作り商品を販売されている方を誘致します。  
本来は住民の為に業者を誘致してお金がかかるのですが、拠点をレンタルキッチンとして使用して頂く事でベンダーの実験場として拠点運営の収益に変えます。